



## 募集相談員と協力して広報 ～ふっさ輝きフェスティバル～

東京地本福生募集案内所（所長 松本清一等空尉）は平成26年5月18日、福生市多摩川中央公園で実施された「ふっさ輝きフェスティバル」において、広報活動を実施した。

「ふっさ輝きフェスティバル」は毎年、福生市及び近郊の市町村から多くの方が来場する人気のイベントであり、今年で23回目となる。今年は晴天に恵まれ3千人を超える方々が来場した。

福生募集案内所は、制服・ミニ制服の試着及び災害派遣のパネルを展示した。特にパネル展示においては、2月の青梅・奥多摩・檜原の雪害及び、5月8日の奥多摩森林火災での災害派遣活動のパネルが注目を集めていた。

また、所員と共に福生市募集相談員の高橋章夫氏、前理恵氏が、来場者にリーフレットを配布し、地域の皆様にご理解をいただいた。

福生募集案内所は、今後も自衛隊協力者の皆様と一致協力して、様々なイベントを通じ、自衛隊への理解をより一層、深めてもらえるよう広報活動を実施していく所存である。



## 晴海埠頭で「トウチ君」ゆるキャラ達と共演 ～東京みなと祭に参加～

東京地本（本部長 高田克樹陸将補）は、5月24日及び25日、東京港晴海埠頭において開催された「東京みなと祭」に参加した。

東京みなと祭は、昭和16年5月20日に国際貿易港として開港したことを記念して行われるイベントで、両日ともに天候に恵まれ、約8万人の来場者が訪れた。東京地本は、賑わい広場において、車両等の装備品展示及び広報ブースを開き、自衛隊をPRした。

装備品展示は、第1普通科連隊の支援を受けた軽装甲機動車及び人命救助セット、1/2トラックの展示を実施した。自衛隊ブースに訪れた来場者は、隊員の説明を受けながら実際に人命救助セットを手に取り、自衛隊の活動に理解を深めた。

広報ブースでは、DVDの放映、防弾チョッキや制服の試着を実施し、終始来場者が途切れることがなかった。家族で記念撮影を行う姿も見られ、人気ぶりが伺えた。

さらに昨年に引き続き海上自衛隊から伝授された組みひも体験コーナーを開設。両日とも瞬間に定員いっぱいとなるほどの大盛況であった。体験中は組みひも作成に苦戦する来場者が多く見られたものの、組みひも完成後は満足そうな表情や笑顔で会場を後にした。晴海客船ターミナルでは、各団体のマスコットキャラを紹介するイベントも開催され、官公庁各機関のキャラクターと「トウチ君」を合わせて6体のキャラクターが、ステージに上がると、来場者は一斉に撮影を開始。「トウチ君」は他のキャラクターに負けず、愛くるしい姿で東京地本をPRし、イベントに一役買った。

両日を通し来場者からは、「震災等で活躍した車両を間近で見ることができ良かった」、「組みひもは難しかったが、体験できて楽しかった」、「自衛隊のゆるキャラを見ることができ、より身近に感じた。」といった声が聞かれた。

東京地本は、今後も様々なイベントに参加し、多くの方に自衛隊の理解を深めてもらうよう広報活動を実施していく所存である。



## 「地域の絆・人と人との絆」 ～絆フェスティバルで広報実施～

東京地本世田谷募集案内所（所長 橋本克史3等陸佐）は、5月24日（土）世田谷区烏山市民センター前広場で実施された「絆フェスティバル2014」に参加した。

絆フェスティバルは、「地域の絆、人と人との絆」をテーマとしたイベントであり、今回も企業、省庁及び東日本大震災の被災地の自治体等多数の団体が参加した。

当日は曇りつつない快晴に恵まれ、自衛隊のブースでは、中型トラック、震災・大雪・台風に伴う各地域での災害派遣活動写真、戦闘糧食等の展示及び、子ども用のミニ制服試着を実施した。広報ブースは常に大盛況で、特にミニ制服の試着は、記念撮影をする人で列を作った。

来場者の方から「被災地で隊員さんがトラックの荷台で冷たい缶詰の食事をとっている映像をテレビで見ましたが、本当に大変でしたね」などの労いや感謝の言葉を多数頂いた。

また、被災地産品の販売や観光案内等に参加していた若手昇陸前高田市、福島県大玉村の方から「その節はお世話になりました」とご挨拶に来ていただき、「これから国民のために頑張ってください」と激励の言葉を頂いた。

世田谷募集案内所は地域住民の自衛隊に対する理解をより一層深めてもらうため、今後も様々なイベントや行事に積極的に参加する所存である。

